写真で振り返る2023年　地元活動

党神奈川県連代表として統一地方選挙に全力、党勢拡大に取り組む

引き続き立憲民主党神奈川県連代表の役を担います。神奈川県連は、国会議員12名、地方自治体議員88名の総勢100名の議員を抱える大きな組織です。昨年は4月の統一地方選挙を最重要活動として先頭に立って取り組み、結果、改選前76議席から78議席に増やし、県民の皆さまから一定の信任をいただきました。納税者の代表、地域の代表として引き続き緊張感を持って仕事に邁進し、来る衆議院総選挙でも結果を出せるよう頑張ります。

立憲民主党 神奈川県連党大会
代表スピーチ (youtube.com)

地元行事に積極的に参加

街頭活動展開中！

さまざまな政策課題、国会での取り組み、法案審査状況などを地元の皆さまに報告させていただきます。保土ケ谷区は森ひろたか市会議員・もちづき聖子県会議員と、旭区は大岩まさかず市会議員・須田こうへい県会議員と連携し、国・県・市一体となって活動を推進しています。地元の声が活動の原点。ぜひお声がけください！

あおやぎ陽一郎インフォメーション

公式ラインはじめました

@897mlcxe

SNSをフォローして「いいね！」お願いします！

国会見学会随時開催

国内唯一の立法機関である国会議事堂は歴史的な建築物としても大変見応えがあります。
あおやぎ陽一郎やスタッフがご案内いたします。ご希望の方は下記事務所までお気軽にお問合せください。お待ちしております！

神奈川6区 自治体議員紹介

プロフィール

- 1969年8月29日生まれ（53歳）家族 妻一男一女
- 元国務大臣政策秘書　NPO法人役員　社団法人役員
- 横浜市立常盤台小学校　保土ケ谷中学校卒業
- 日本大学高校　日本大学法学部卒業
- 早稲田大学大学院公共経営研究科修了
- 衆議院議員4期　党神奈川6区（保土ケ谷区・旭区）総支部長
- 党神奈川県連代表
- 衆議院内閣委員会筆頭理事
- 認定NPO法人 ICA文化事業協会会長
- ベトナムフェスティバル共同委員長　チャイナフェスティバル事務総長

メールでのお問い合わせ
info@aoyagy.net

あおやぎ陽一郎事務所

国会事務所
〒100-8982 東京都 千代田区 永田町 2-1-2
衆議院第2議員会館1013号室
TEL:03-3508-7245　FAX:03-3508-3515

横浜事務所
〒240-0003 神奈川県 横浜市 保土ケ谷区 天王町 1-9-5
第7瀬戸ビル 1F
TEL:045-334-4110　FAX:045-334-4113

立憲民主党
衆議院
神奈川6区総支部
機関誌
033号

HP/SNS

衆議院議員4期 あおやぎ陽一郎 ＃あたらしい改革

ひとにやさしく不正に厳しい政治で、
あらゆる世代の幸せをつくる

立憲民主党

コンテンツ

- ☑ ごあいさつ
- ☑ 国会活動報告
- ☑ 国際交流・議員外交を積極展開！
- ☑ 写真で振り返る2023年　地元活動
- ☑ あおやぎ陽一郎インフォメーション

衆議院議員
立憲民主党 衆議院
神奈川6区総支部長
（保土ケ谷区・旭区）

あおやぎ陽一郎（よういちろう）

ごあいさつ

2023年を振り返り2024年を展望する

令和6年能登半島地震が発生しました。
また羽田空港では航空機事故も発生しました。
亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに被災された皆さま、事故に遭われた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。
私たち立憲民主党も党本部、地方組織あげて、寄せられた現地の声を共有しながら政府関係機関、自治体とも協力し、初動の対応、中長期の被災者支援、復旧復興に全力を傾けてまいります。
さて、この11年間の政治で日本経済は、大企業の内部留保ばかりが積み上がり（５００兆円超）長期低迷、一人当たりＧＤＰは先進国最低水準、賃金は３０年横ばいのなか、物価・ガソリン・電気代が生活を圧迫、少子化は一段と進み出生率は１.２６、年間に生まれる子どもは７７万人。一方で国民負担率は今や５０％まで増加。それでも子育て、教育予算は先進国最低ランク。食料自給率３８％、高い自殺率、この事実に不安と不満を感じない国民はいないのではないでしょうか。
岸田政権は改革なき防衛増税路線で、賃金と所得が上がる経済への転換が見えず、国民ニーズに全く応えていません。少子化対策、教育支援は圧倒的に不足しているのに、予備費と基金は大きく積み増しされ、予算の使い残しと基金残高は４０兆円に迫る状況です。いま、本気で政策と予算を見直さなければ、この国の再生はありません。つまり政治を変えなければなりません。
さらに統一教会との癒着やパーティーの裏金で不法行為が常態化していた自民党政治の歪みが明らかになってきました。
私たち立憲民主党の真価が問われる一年になります。今年は辰年。不正を断ち、光の当たる場所を変える、そういう政治のスタートにしていく決意です。
人にやさしく不正に厳しい＃あたらしい改革で、国民生活を底上げしていきます。
「あらゆる世代の幸せをつくる」政治はそのためにあります。
政権交代可能な強い野党をつくる、その先頭に立つ覚悟です。

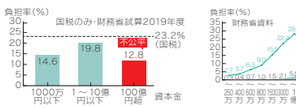
国民ニーズを汲み取り必要な政策を提案する

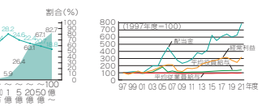
●株価優先、株主優先の経済政策から所得と賃金が上がる経済政策に転換する！
- ●従業員、取引先、下請け、地域、環境を大切にする公益資本主義（適正な再分配）へ
- ●物価高、消費不況、格差と貧困解消のための単一5%への消費税減税
- ●中小企業や地場産業の支援強化、価格転嫁できる仕組みを強化
- ●最低賃金引き上げ、保育士・介護職員の確保充実のための処遇改善
- ●グリーン・エネルギー・デジタルの成長戦略強化とインパクト投資促進

●教育と子育てへの徹底投資を実現する！
- ●出産費用無償化と子どもの医療無償化、児童手当拡充、給食費無償化
- ●高校までの教育無償化と大学の給付型奨学金の拡充、児童の安全確保
- ●研究開発への支援強化、イノベーションを生み出す科学技術に積極投資
- ●教育の質向上と教員の働く環境の改善

●健康長寿社会をつくる！
- ●必要なときに必要な医療が受けられる安心の医療体制を構築
- ●予防・治療・介護の壁をなくし、健康で長生きできる医療体制を構築
- ●「かかりつけ医」の役割やプライマリケアを医療の中心に位置付ける

●不公平税制の抜本改革で財源を生み出し、子育て教育、医療・介護へ投資する。
- ●超大企業に応分の負担を求める法人税改革（ミニマム課税・累進税率導入）
- ●超高所得者に応分の負担を求める所得税改革（高額所得者への累進強化）
- ●行き過ぎた株主資本主義の是正、格差と貧困の解消





書籍「どうする、野党!?」「大きな政治と新しい改革」で永田町の常識を喝破！出版　出版記念集会を開催

立憲民主党を立て直し政権を目指す。
私が幹事長を務める政策グループ#直諫の会（ちょっかんのかい）で、書籍「どうする、野党!?」大きな政治と新しい改革で永田町の常識を喝破！を昨年9月、幻冬舎から出版。
日本の政治の停滞を正していく決意を記しました。
有隣堂横浜駅西口店では5位に、Amazonでは社会・政治分野ランキング１位を獲得。また10月には旭公会堂（鶴ヶ峰）で、本の共著者であり会長を務める重徳和彦衆議院議員をゲストに出版記念集会を開催し、多くの皆さまにご来場いただきました。トークセッション形式で行い、日本の課題と解決策、党・国会改革、選挙にかける想いを目一杯語り、ご参加の皆さんからは、楽しかった、政策がわかった、という評価の声をいただきました。書籍で示したことを一つひとつ実現するため活動を続けて参ります。ご来場の皆さま、ご購入の皆さまのご支援に改めて感謝申し上げます。

ABEMA Prime #アベプラ出演
【立憲民主】政党を叩き直す？泉代表路線と何がどう違う？ゴールは政権を担うこと？直諫の会って何だ？｜アベプラ (youtube.com)

アベプラ

書籍購入

国会活動報告 内閣委員会筆頭理事として重要法案を審議

議員立法提出

1 児童手当所得制限撤廃法案

内閣委員会の筆頭理事として「児童手当法改正案」を衆議院に提出。少子化が加速するなか児童手当の所得制限は撤廃し、さらに今後支給年齢の延長と支給額の増額を求めていきます。日本は予算に占める子育て支出割合が先進国で最低レベル。出生率は1.26%、年間に生まれる子どもの数は77万人まで減少しています。超少子化の経済的要因を取り除き、子どもを産み育てやすい環境を社会でつくっていくことは急務です。必要な政策、法律を示していきます

「分断なく、すべての子どもたちを応援」児童手当所得制限撤廃法案を維新の会と共同で衆院へ提出 - 立憲民主党 (cdp-japan.jp)

2 総理大臣・政務三役 給与据え置き法案

私たちは社会全体として賃上げ・所得向上の流れをつくっていきたいと考えています。
一方でいま、国民の多くが物価高、エネルギー高に苦しみ、実質賃金はマイナスという状況で、総理大臣や国務大臣など政務三役、万博（2025年日本国際博覧会）政府代表の給料を先行して上げていくことは、到底国民の理解を得られません。私たちは、総理大臣等給与据え置き法案を提出し、内閣委員会で審査しましたが、総理大臣等給与据え置き法案は否決され、総理大臣給与アップ法案が成立、、、
残念ながら岸田政権には民意を聞く意志は無いようです。

TBS

3 大阪万博に関する予備的調査

「2025年日本国際博覧会に関する予備的調査要請書」を衆議院に提出。税金の使い道に国民の関心が高まるなか、国家プロジェクトである大阪万博開催が迫ってきました。しかし機運が高まらず、一方的に予算が膨れ上がり、無駄遣い、時代錯誤など批判が噴出し、国民に不満が広がっています。この予算の大半は私たち国民の税金です。万博開催には、会場建設費のほか、運営費、広報、周辺インフラ、警備費など多くの予算が必要になり、国会として精査する必要がありますが、そもそも政府は万博予算の全体像を示そうとしません。この姿勢が機運醸成につながらないのだと考えます。政府が説明しないので、国会の権限に基づいて予備的調査要請書を提出し、万博予算の全体像を明らかにしていきます。
＊予備的調査とは、衆議院の委員会が行う審査・調査のために、衆議院調査局長または法制局長に調査を命じて行わせる一定の強制力がある衆議院の権能の一つ。

【予備的調査】「2025年日本国際博覧会に関する予備的調査要請書」を衆議院に提出

4 悪質ホストクラブ被害対策推進法案

「悪質ホストクラブ被害対策推進法案」を衆議院に提出。社会的に大きな課題となっている悪質ホストクラブ問題とは、一部のホストクラブで、洗脳した一般女性を性産業に従事させ、その売上げを回収することを前提に、女性の支払い能力を超えた飲食サービスの売掛金を負担させる悪質な行為です。これらの行為は、消費者契約法・売春防止法・職業安定法違反にあたりますが、悪質ホスト側は巧妙に法の穴を潜り抜けてきました。そのため、大きな被害を負う若い一般の女性が増え、社会問題化しています。
私たちは当事者・当事者の保護者、支援団体からヒアリングを行い、悪質ホストクラブの被害の実態を把握し、いまやらなければならない対策を徹底させるための行政の責務・施策を定め、立法府の責任を果たしてまいります。

「悪質ホストクラブ被害対策推進法案」を衆議院に提出

衆議院内閣委員会ポーランド・ジョージア視察報告

ポーランドの首都ワルシャワから陸路で5時間、ウクライナとの国境の町プシェミシルを訪問し、バクン市長と面会、現況を視察。会談は各国首脳がウクライナ入りする際に使用するプシェミシル駅構内。ロシアによるウクライナ侵攻がはじまった際は1日5万人が避難し、支援センターを開設した場所。ポーランド政府とバクン市長の迅速な判断と支援が、多くのウクライナ避難民を支えてきました。戦争の長期化は世界のあらゆる面に負の影響を及ぼしています。
その後、ポーランド要人との面談、ウクライナからの避難民に学びとカウンセリングを施すUNICEFの教育・開発センター視察。戦争の悲惨さと国際社会の連帯の必要性を痛感しています。
ポーランドから空路ジョージアの首都トビリシに移動。ジョージアは国民所得年6000ドル、現在経済成長で途上国から中進国へ発展している国。ワイン発祥の地（世界遺産）で知られ、大変な親日国。国内の電力を水力発電で賄う再生可能エネルギー先進国でもあります。2008年、ロシアとの紛争によって停戦合意がなされた南オセチア地域（ロシアによる事実上の占領地）行政境界線（ABL）をEU停戦監視チーム（EUMM）と視察し、地雷除去や経済強力の支援を確認しました。ジョージアと戦略的に友好関係を深めることは意義があります。サムハラゼ国会外交委員長・日ジョージア友好議員連盟会長、ジャンジャリア外務次官と交流促進、直行便開通、ビザなし渡航等について意見交換。
ロシアによるウクライナ侵攻が続くなか、北方領土問題を抱える我が国とある意味共通の課題があるポーランド、ジョージアを訪問し、対ロシア外交の視点と経験、国際連帯、戦略的課題の共有は議員外交の大きな収穫となりました。

国際交流・議員外交を積極展開！

多層的重層的に人間関係を構築し世界の平和、日本の国益をつくっていく。
議員外交は国会議員の重要な役割。あおやぎ陽一郎は議員外交に積極的に取り組んでいます。

党代表とベトナム訪問。政党間交流の合意書（MOU）締結

党国際局次長として泉代表とベトナムに出張。日本とベトナムの関係づくり（フェス、人材交流、人材育成）は私のライフワーク。昨年は50周年のアニバーサリー。
山田駐ベトナム大使との最新情勢ブリーフから始まり、フエ国会議長、ソン外務大臣、マイ書記局常務（越日議連会長）、ソン教育訓練大臣などベトナム政治分野トップと会談が実現。ODA、貿易、投資、安全保障から人材・入管制度、環境課題など多角的に議論を交わし、その後、チュン党対外委員会委員長と議員交流・政党交流の加速で一致、MOUを締結し、日越関係の更なる深化を確認しました。
日本で働くベトナム人は50万人に達します。一方で日本の存在感が相対的に下がっているという指摘も聞かれるなか、私の経験やネットワークを活かし、ベトナムとの関係構築に努めます。政党間合意は非常に有意義。関係者の皆さんにも改めて御礼申し上げます。

日本ベトナム外交関係樹立50周年記念事業を国内・ベトナム各地で開催

日越外交関係樹立50周年を記念して、毎日新聞紙面で記念鼎談が実現。9月27日、全面カラーで掲載されました。
福田元総理、ヒェウ駐日ベトナム大使、女優のフォンチーさん、進行役が私。WEB版でもご覧いただけます。

1 50周年記念事業ベトナムフェスティバル2023を盛大に開催

２００８年に３５周年事業としてスタートし、２０１３年の４０周年を経て１５回目を迎えたベトナムフェスティバル。毎年１０万人以上の来場者を迎え、日本国内最大規模の文化交流の祭典、両国民交流の場として定着しています。２００８年に皇太子殿下に御行啓を賜り、２０１３年に秋篠宮殿下妃殿下の御臨席をいただきました。本年、佳子内親王殿下をお迎えし５０周年に相応しい盛大なイベントになりました。ベトナムトップアーティストのパフォーマンス、１４０を超える出展ブースなど食・伝統芸能・音楽・観光などベトナム文化を表現できました。
会場に溢れた活気と笑顔は私たちにとって大きな財産です。今後も日越文化交流の象徴として続けてまいります。　シン カム オン!

ベトナムフェスティバル2023 代々木公園

2 HUTECH（ホーチミン工科大学）名誉博士就任　50周年記念事業 JAPAN TREND FESTIVAL@ホーチミン開催

HUTECHはベトナムで最初の私立大学で、5万人を超える学生が学んでいます。私は2015年にHUTECHと連携し日本語と日本型教育を実践するVJIT（日越工業大学）を姉妹校として設立。それらが評価され名誉博士号授与となりました。
JAPAN TREND FESTIVALは、ホーチミン市、総領事館、JETRO他協力のもと、日本文化と最新コンテンツの発信を目的に開催。日本から前田敦子、森崎ウィン、もえのあずきなど多くのアーティストのパフォーマンス、バンダイ、トッパン、イオンなど企業の展示、G-FACTORYをはじめとする日本食の紹介などで会場を盛り上げていただきました。　未来に繋げていきたいと思います。

HUTECH
（ホーチミン工科大学）
名誉博士号授与式・記念講演

日越50周年記念
JAPAN
TREND
FESTIVAL

日中平和友好条約締結45周年記念事業チャイナフェスティバル開催

昨年の日中平和友好条約締結45周年を記念して、9月9日・10日、東京代々木公園でチャイナフェスティバル2023を事務総長（最高顧問：福田康夫元総理、委員長：呉江浩駐日大使）として開催しました。日中関係は、政治的に様々な課題があることは事実です。同時に重要な隣国であり、日中ともにアジア地域そして世界の経済をリードしていく国です。私は、この主要な隣国同士が関係を閉ざしてはいけない、対話のチャンネル、交流の機会を維持することは国益となるという立場、平和・友好・交流の友好条約の主旨を実践していくという想いで2017年から新たな交流のプラットフォームとして「チャイナフェスティバル」を立ち上げ、毎年9月に東京代々木公園で交流事業を実施、多くの皆さまから評価の声をいただいています。今後も役割を果たしてまいります。

日中平和友好条約締結45周年記念事業
チャイナフェスティバル2023

NPO法人ICA文化事業協会会長として国連ウクライナ女性支援プロジェクトを支援

私が会長を務めるICA文化事業協会（ICAジャパン）は、外務省やJICA、現地政府と協力して、途上国に、貧困撲滅、環境保護、女性や子どもの支援、SDG’s を実践する国際NPOで、世界48か国にネットワークを有しています。昨年11月には、国連ウクライナ女性支援プロジェクト代表団12名を日本に招へいし平和のフォーラム、、上智大学三浦まり先生との意見交換会、ウクライナ大使館・外務省表敬、横浜市立保土ケ谷小学校で平和を考える交流会を企画実施。ウクライナはいま、戦争中です。戦争は弱い人たち、つまり子どもが一番大きな影響を受けます。学ぶこと、遊ぶこと、食べること、ウクライナの子どもたちは、それが当たり前ではありません。国と国の外交に加えて、私たち一人ひとりも何かできることをやっていこう、この想いでプロジェクトを実施しました。
地元保土ケ谷小学校での交流会では、言葉は違ってもお互いを知り、心と心が通じ合える、子どもたちの表情やコメントからそれが伝わりました。ご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。

NHK

タウンニュース
保土ケ谷